

プランクトン調査結果のお知らせ

潮色が悪く、養殖魚の様子がおかしいとの連絡を受け、平成25年6月14日17時頃から野見湾の調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なカレニア・ミキモトイが湾全域で確認され、最高細胞数はガラク漁場の1,445cells/mlでした。被害が想定される細胞密度に達しているため、餌止めを行う等、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

有害プラントン (cell/ml)

	水深	カレニア・ミキモトイ	ケラチウム・フルカ
大室戸	0m	560	2
	2m	700	9
	5m	545	1
湾央ブイ	0m	370	4
	2m	114	1
	5m	281	8
馬の背	0m	495	6
	2m	320	5
	5m	264	5
勢井	0m	241	0
	2m	176	1
	5m	140	1
ガラク漁場 (北東)	0m	1,445	0
	2m	1,125	1
	5m	217	3
ガラク漁場 (北)	0m	1,415	1
	2m	880	5
	5m	198	7

漁業被害が想定される細胞密度

- カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(へい死)
- ケラチウム・フルカ: 100cells/ml(餌食いの悪化)